



発行所  
 岩ヶ崎高等学校同窓会  
 宮城県栗原市栗駒  
 中野愛宕下1の3  
 TEL (0228) 45-2266  
 FAX (0228) 45-2267  
 印刷 夕カハシ印刷

題字 葛岡 重利 (S41 卒)  
 写真 佐々木勝行 (S38 卒)

心に真心を



同窓会会長  
 後藤 家光  
 (昭46年 岩高卒)

会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症も、大分沈静化し、生徒の皆さんも徐々に本来の高校生活が営めるよう改善されてきております。

さて、本年二月二十八日、同窓会入会式が執り行われ、新たに六十三名の同窓生が仲間入りをいたしました。

卒業式は市長を始め、PTA役員、同窓役員のほか、県・市議会議員、大学・中学校校長にも参列していただき、国歌や校歌も斉唱で行われました。

入学式につきましては、従来どおり多くの来賓をお呼びし、マスク着用は自由ということで実施されました。誠に長い四年間でした。

なお、本年度の新入生は、昨年と同様に減少傾向にあり、二十四名と本校にとつて大変、深刻な事態となっております。

本校でも、岩ヶ崎高校魅力化プロジェクトを立ち上げ、近隣の中学校へアプローチを始めましたが、中々入学者の増加

にはつながっておりません。

同窓会としても今後岩高と共に協力し合い、何らかの手段をとっていかなければと、役員一同頭を痛めております。

つきましては、皆様方にも良い方策をご提供頂ければと思っておりますので、ご検討をお願いいたします。

入学生は少なくなりましたが、生徒達には「清く、明るく、正しく素直な真心」を醸成して頂きたいと思っております。

学問の神様といわれる、菅原道真公の短歌に「心だに誠の道に叶いなば 折らずとも神や守らん」と詠っております。言に成ると書いて誠となります。岩高生

が自分の言ったことに責任を持って対応することが大事であると思っております。今年は、寒い日と温かい日が連続しており体調管理が中々出来無くなってきております。

会員の皆様方も、体調管理には十分ご注意くださいとお過ごしして頂ければ幸いです。

皆様方には、少しずつ行動範囲を広げて頂き、これまでの鬱憤を晴らして頂く様お祈り申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様方の益々のご発展とご健幸ご活躍を御祈念申し上げます。

# 岩高同窓会報に 寄せて



栗原市長

佐藤 智

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、この会報につきましても、第44号の発行を迎えられ、これまで卒業生及び在校生の皆様が長く伝統を繋いでこられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

岩ヶ崎高等学校は、建学の精神「尚志育英」の下、志高く、自発的かつ自主的に学ぶ生徒を育てて来られた、市内でも有数の進学校であります。

多くの生徒が目標を実現してこられた、このような素晴らしい学校の卒業生が支える同窓会が、今後ますます発展されますことを大いに期待するとともに、市長として大変頼もしく感じております。

さて、栗原市では、高校や大学で奨学金を利用し、卒業後に栗原市内

に住んで、市内の企業に就職した場合、年間二十万円を限度に最長五年間、借り入れた奨学金の返還を支援する事業を、この四月から新たに始めました。

全国的に働き手不足が深刻化する中、こうした取り組みを通して、地元若者が、勉学に励んだのち、この栗原の地で将来にわたり御活躍いただけることを心より願っております。

また、同窓会員の皆様の中には、岩ヶ崎高等学校への進学を目標としている、あるいはすでに通われているお子さまの保護者の方も多くいらっしゃるかと思います。ぜひとも、お子さまに、進路を選択していく際の一助として、お伝えいただければ幸いです。

長く地域に根差し、多くの有望な学生を送り出してきた魅力あるこの学校をお子さんたちが卒業し、十年後、二十年後も、栗原市に住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいりますので、引き続き、当市の取り組みへの御理解、御協力をお願いいたします。

結びになりますが、岩ヶ崎高等学

校同窓会の皆様の、今後益々の御活躍と御発展を心よりお祈り申し上げます。

# 会報に寄せて



学校長

村上 孝志

同窓会の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本校は、今年度おかげさまで創立八十二周年目を迎えております。昨年度から、三年計画で学級減が実施されており、今年度は、第一・二学年が二クラス、第三学年が三クラスの合計七クラスという体制でスタートを切りました。栗原市の人口減少の影響もあり、近年の入学生数の減少は、本校の重点課題となっております。

そこで、昨年度は、校内で「岩高魅力化プロジェクト委員会」を立ち

上げ、服装自由登校期間の設定や、新たな部活動（バドミントン部）の新設、また、長期休業中に希望者を対象とした探究ツアーやイングリッシュ・キャンプの実施など、教育活動の魅力化に取り組んできました。

そして、今年度は、「岩高魅力化プロジェクト委員会」を校長直轄のプロジェクト・チームに再編し、在校生、地域の中学生やその保護者にとって、より魅力ある教育活動を行っているところと、現在知恵を出し合っているところです。

一方で、令和四年度卒業生六十三名の進路を見ますと、国公立大学十六名、私立大学延べ七十九名、公務員六名の合格など、進路実績は大変充実してきており、小規模・少人数ならではの、生徒一人一人に手を掛ける丁寧な教育を実践できていると自負しております。

今後も、同窓会の皆様の御協力・御支援を頂きながら、地域に根ざした魅力ある学校づくりを進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





# 走り続けます 東京岩高会



東京支部長

長沼 和秋

(昭53年  
岩高卒)

第66回 東京  
岩高会総会は、

令和4年11月23日 後藤家光同窓会  
会長、村上孝志校長先生、豊嶋潤仙  
台支部長をはじめ56年卒・60年卒の  
新しい顔ぶれ、65年前の昭和32年に  
若干25歳で東京岩高会を設立された  
小野寺喜美夫大先輩(90歳)など57  
名のご出席を頂き開催致しました。  
会を開催する度に後藤仁先輩(S45)  
から、とても多くのスイーツポテト  
を頂き、今回も全出席者にお配りさ  
せて頂きました。  
特別プログラムは、全国大会入賞  
ご経歴の岩永壽子先輩(S38)、古館  
芳子先輩(S51)ご姉妹による民謡  
と歌手長山洋子さんの専属伴奏者で

津軽三味線の大御所 澤田勝仁さん  
ご共演による民謡三味線、文字甚句  
など、ふるさとを堪能させて頂きま  
した。

私の3本柱の一つの「東京マラソ  
ン」、応募者が定員の10倍を超えるこ  
の大会、19回開催のうち今回含め8  
回出場しています。3月初旬寒さが  
残るこの時期ですが、鎌田正聰先輩  
(S35)、佐々木くに子先輩(S37)が  
応援に駆けつけて頂きました。

3万8千人ランナーそして百万人  
もの観客がいる中で一人のランナー  
を見つけるのは容易ではなく、何キ  
ロ付近で、何分頃の通過等事前にお  
伝えしておかないと、見過ごしてし  
まうので、事前の打ち合わせが必要  
です。ここ2回の大会ではランナー  
はスマホを持って走ることが必須と  
なっていますが、お会いするにはお時  
間を要したところです。

今年の東  
京岩高会総  
会は、11月  
23日(木)  
ニコホテル  
東京で開催  
します。



岩高東京支部総会同級生と

特別プログラムは、同級生高橋良  
哉さん(東邦大学教授)の「アンチ  
エイジング」のご講演です。是非  
多くの方々のご出席をお待ちして  
おります。

## 決意表明?



仙台支部長

豊嶋 潤

(昭60年  
岩高卒)

昨年4月に同窓会副会長から就任  
を打診され、後先も考えず軽いノリ  
で「かしこまりました!」と言って  
しまったのがきっかけで、仙台支部  
長を拝命しました豊嶋潤と申します。  
そもそも自分は同窓会の学年幹事と  
の認識もなく、平成27年の同窓会の  
当番だった際も何もせずに、地元に  
いるガソリンスタンドの経営者や郵  
便局長などの同級生に段取りの全て  
を行ってもらい、当日の司会進行を  
行ったような状態でした。しかしな  
がら、その同窓会で諸先輩との出会  
いや母校を想う気持ちに接して、自  
分を育てていただいた母校への感謝  
の想いを新たにし、それ以降の同窓

会や仙台支部の総会には同級生を誘  
いながら時間が許せば積極的に参加  
してまいりました。昨年の東京支部  
の総会にも東京在住の同級生に声か  
けを行い、卒業以来30数年ぶりに幼  
馴染にも会うことができました。か  
なり呑兵衛になっていて驚きました  
が、すぐに当時の話題で盛り上がり  
ました。これも同窓会のいいところ  
ですよ。

仙台支部の状況ですが、コロナの  
影響もあり、平成30年から総会を開  
催していない状況です。また、仙台  
支部運営規約に沿った運営も行えて  
おらず、改めて組織や会員の把握か  
ら始めなくてはいけないという状態  
でございます。まずは、今年度の総  
会開催に向けて会員の把握から行い  
たいと思いますので、仙台近郊にお  
住いの同窓生の皆様におかれまして  
は、母校の同窓会事務局の担当者  
に仙台支部に参加します!と連絡い  
ただければと存じます。一緒に仙台  
支部を盛り上げていきましょう!終  
わりに、岩ヶ崎高校同窓会と岩ヶ崎  
高校の益々の御発展と会員皆さまの  
御健勝と御多幸を心より御祈念申し  
上げます。

思い出の先生方



岩ヶ崎高校の思い出



元岩高教諭

菅原 道弘

(昭63〜平9)

私は昭和六十三年四月、保健体育科の教員として新規採用され岩ヶ崎高校に赴任いたしました。当時の体育科は、蘇武寿美子先生、石川雄二先生、非常勤講師で同期の千葉浩美先生と私の四人体制でした。蘇武先生は母のように、石川先生は兄のように面倒を見て下さりました。特に蘇武先生には、仕事面だけでなく人との接し方や周囲への気配りなど社会人一年目の私に様々なことを教えていただき、岩校での九年間を不安なく過ごせたのは先生のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

定期戦を始め、文化祭や体育大会、ダンス発表会や柔道大会などもありました。特に、栗駒山に向かい一日をかけて三十キロほどを歩く強歩大会は、岩高ならではの名物行事と言って良いでしょう。稲刈りの終わった田園と、うつすらと紅葉が始まった山の景色の中、先生方も混じって和気藹々と歩く生徒の姿はとっても微笑ましいものでした。中には、全行程を完走する強者の生徒もおりました。

岩高は若い先生方が多く、定期考査中などは放課後にバレーボールやバドミントンなどをして過ごしたことも強く印象に残っています。時に、夜遅くまで学校に残ることもありました。そんな時には片務の佐藤亮さんが若い私たちのために、夜食を振る舞っていただきました。現在の学校はどこも機械警備になり夜遅くまで学校に残ることはなくなりました。当時の経験はとても懐かしさを感じます。

鶯沢工業の思い出



元鶯工高教諭

齋藤 健

(平12〜平22)

また、岩ヶ崎という町も温かい人が多く、金龍さんのかつ重やすき焼きに舌鼓を打ち、文字屋さんでは毎度美味しい食事をいただきました。くり電もまだ健在で田町駅の裏に住んでいた私には、踏切の音も懐かしく思い出します。

最後に、岩高で過ごした日々は何よりの財産です。ありがとうございました。

私は鶯沢工業高校に、平成十二年四月から十一年間お世話になりました。

当時の写真を見返して印象に残っている出来事は、平成十九年の生徒活動成果発表会です。蒸気機関車の製作について発表を行い、見事最優秀賞を受賞することができました。機械科での蒸気機関車の取り組みは、齋藤茂先生のスターリングエンジン



生になつたらぜひやりたいと考えていた生徒が多く、これまでの授業で身に付けた技術の集大成として、熱心に取り組んでくれたことを思い出します。生徒がものづくりに熱心であつた背景には、NC工作機械の指導に長け、溶接実習のジグなどを作製し、どの工程であつても生徒が安全に加工できるように工夫を凝らしていたいただいた深見静雄先生、ものづくりコンテスト旋盤作業において生徒を県大会優勝に導くことのできる卓越した技術を持ち、実習では汎用工作機械の基本を生徒に合わせて適切に指導していただいた蘇武次男先生の力が欠かせなかつたことを痛感しております。

最後になりますが、平成二十年の岩手・宮城内陸地震の際に、機械工場の工作機械が横ずれしてしまい途方に暮れていたところ、大成工業株式会社様が、電話で「学校大丈夫ですか？今から行きますよ！」と駆けつけて下さり、工作機械を復旧していただきました。おかげさまで、通常の授業がすぐに始めることができましたこと、あらためて感謝申し上げます。

このように先生方や生徒たち、地

域の皆様との思い出を振り返ることができ、うれしく思います。同窓生の皆さんのご活躍を心からご祈念申し上げます。



### 近況報告



菅原 美話

(昭56年 岩高卒)

皆様お元気ですか？ 最近、歳のせいか同級生と会いたいな？と思う事がよくあります。高校時代の思い出は部活しかないくらい卓球部命!!の日々でした。今はなくなってしまう旧体で汗を流し、床の雑巾がけではよくトゲが刺さった痛い思い出が蘇ります。高校を卒業してからは、なかなか破天荒な人生で、教員を目指し大学に進学したものの芸能への夢も諦めきれず、一人っ子にもかかわらず上京し、両親には本当に迷惑

をかけたヤンチャな娘でした。

東京では板東玉三郎さんの私塾で勉強したり、劇団扉座のヒロインオーディションを受けたりと、日々バイトと夢へのチャレンジで必死でした。そんな中で出会った沢山の方々の繋がりのお陰で、舞台や映像のお仕事を経験する事ができました。なぜ私が芸能に興味を持ったのか？

元を正せば幼稚園の頃から始めた日本舞踊でした。若柳の宮藤官九郎さんのお母様が私の師匠であり母親のような存在でした。今でもよく連絡を取り合う大切な恩人です。藤間流の名取りになれたのも先生のお陰です。よく亡くなった父が「芸は身を助ける」と言っていて、芸能の道に進んだ時、初めて日本舞踊の名取りという武器がある事で、様々な仕事に繋がった事は間違いない自信となりました。勿論、花の都東京で沢山の挫折も味わいました。でも常に故郷・栗原や両親への思いが自分のエネルギー源となり「いつかこの経験を故郷に、自分の人生に活かしたい!!」と思うようになりました。親の背中を見て子は育つと言いますが、物の見事に娘もAKB48で活動したり舞台「ハリーポッター」で空を飛んだりと芸能の道へ進んでしまつて

おります。正に「蛙の子は蛙」ですよね(笑)

私の現在はテレビやラジオの仕事はほぼ引退しつつも、モデルやタレントの育成に力を入れて若手の原石発掘に力を入れております。春からは「栗原芸能塾」を立ち上げ、栗原にはないエンターテインメントのスクールを開校すべく、体験レッスンから実施しております。岩高の先輩や後輩方も興味を持ってくれたらいいなと密かに期待しています!!栗原の子供達は習い事にも選択肢がないのが残念です。私が経験したような、何か自分の武器となる得意な事や、好きで夢中になれる事を見つけて欲しいです!!仙台に行かなくても栗原で自分磨きができます!チャレンジに年齢は関係ありません。是非、皆様と楽しい事がしたいです。お会いできる日を楽しみにしております。

**モックエンターテインメントスクール 栗原校**

**栗原初 芸能塾!! 生徒募集!!**

憧れの芸能界! 習い事としてもOK!

ご応募、お問合せはこのQRコードからか、お電話、メールでもどうぞ!

カリキュラム  
-ダンス(各ジャンル)  
-演技(表現)  
他、芸能に特化したプログラム

体験レッスン開催予定日  
\*6/30(土): 歌唱  
講師: 木田菜々  
(ポイストレーナー)  
\*7/8(土): ダンス  
講師: みぞめゆみ  
(びわこミュージックアカデミー講師)  
\*7/22(土): 演技(表現)  
講師: 菅原美話

体験レッスン参加料: ¥1,000(一人)

合同会社モックエンターテインメント  
〒987-2263 仙台市青葉区中央-7-16-22-603  
TEL 022-200-6414  
メール info@moc-e.com  
http://moc-e.com